



COCOON Pj.

地域とつくるエリアマネジメントとMaaS

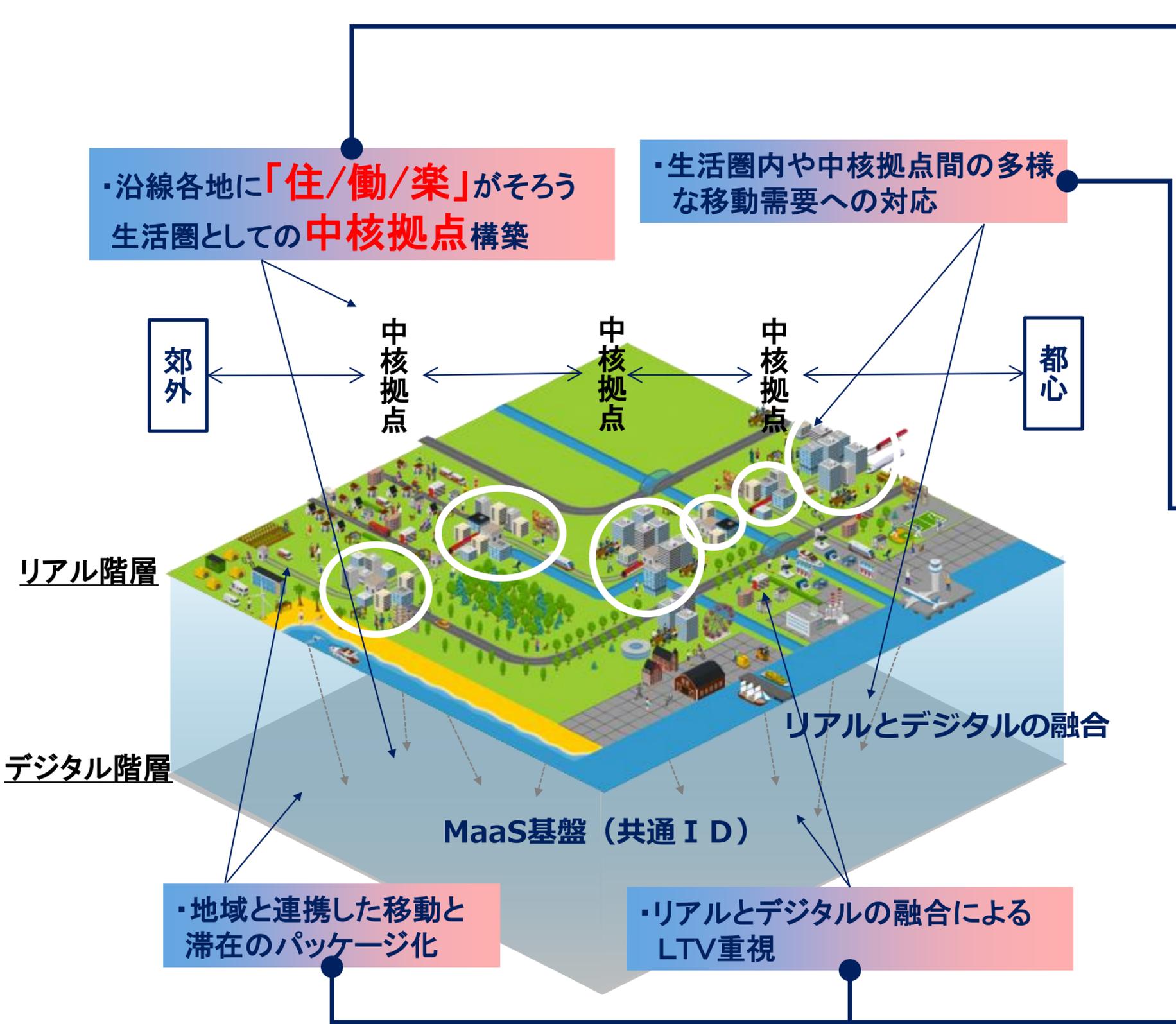
京急沿線エリアマネジメント構想「COCOONプロジェクト」

2023/10/28

Keikyu Corporation All rights reserved.

「多極型まちづくり」時代におけるエリアマネジメントの重要性

■新しい沿線まちづくり（多極型まちづくり）



①魅力的な生活圏の確立

- 自社による開発, ハード整備に加え, **地域他者による拠点整備**や, **地域と連携したサービス開発**が必須となる。
- さらに地域における居場所や**コミュニティ創出**も重要となる。

②利便性の高い移動環境の整備

- 生活圏間の移動だけでなく, **生活圏内の細かな移動需要**に対応したモビリティ整備が求められる。
- 当社鉄道, バス, タクシーを補完する**地域交通**やパーソナルモビリティを地域連携で整備する。

③MaaS基盤による地域との一元化

- 上記で整備した「移動プラットフォームとまち創造プラットフォーム」や「当社サービスと地域サービス」について, **DXによりすべて一元化**する。
- 生活圏における利便性が向上し, **相互誘客と需要拡大**を実現する。

↑ エリアマネジメントに取り組むことで実現 ↓

COCOON Pj.

地域の活動を「つなぎ」「続ける」
ことで生まれる「新しい価値」

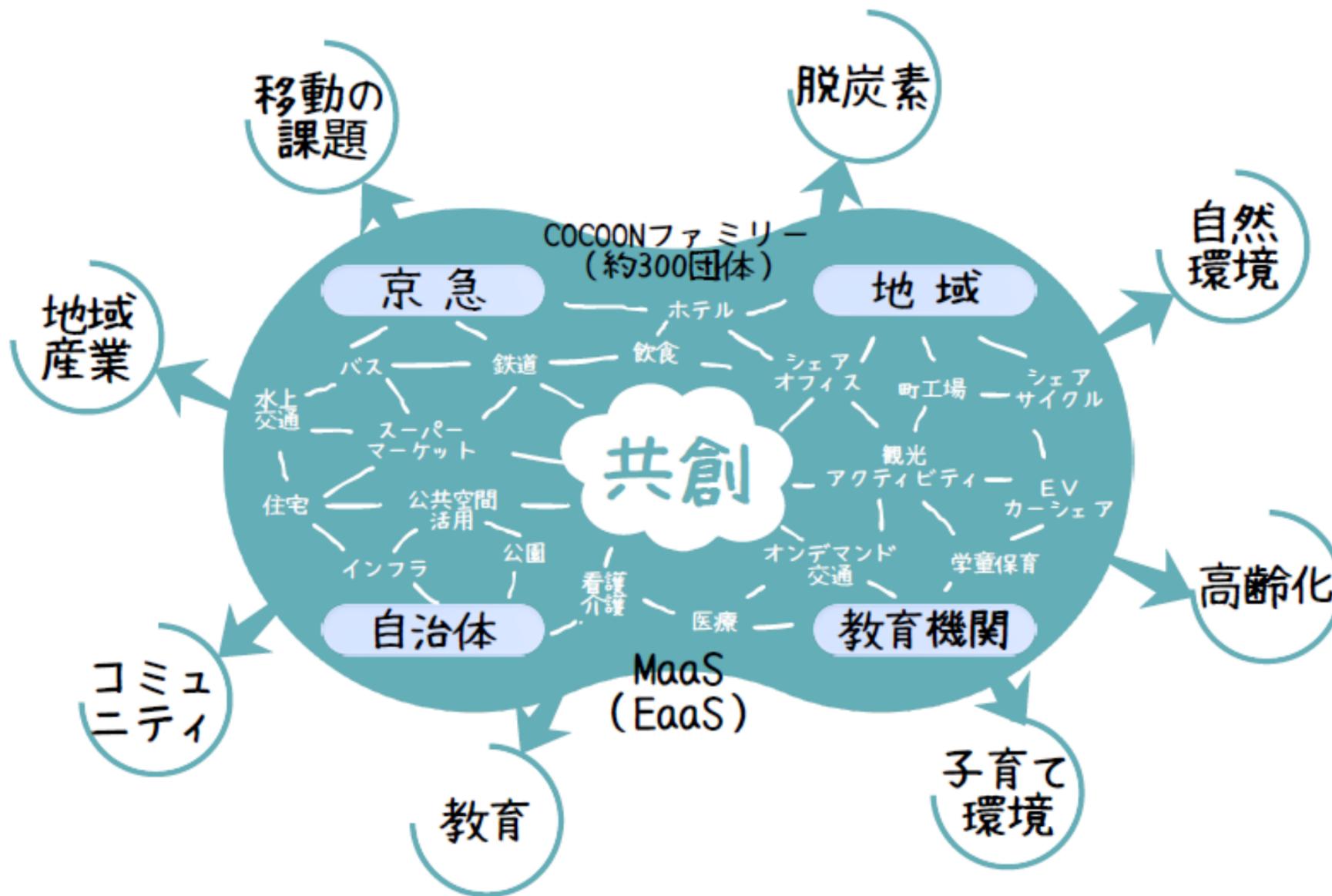
京急沿線の個性的な「まち」それぞれが持つ「優しさ・やわらかさ」「来訪者を包み込む」「地元のつながり（糸）」を「COCOON（繭）」として位置付けエリアごとに取り組むプロジェクトです。

沿線各エリアで地域課題に取り組む「京急」「地域」「自治体」「教育機関」などのプレイヤー約300団体（※）を「COCOONファミリー」として、緩やかな連携をつくっていくことで、地域に共創の輪を広げていきます。

COCOONファミリーがこれまで個別に取り組んできた活動を「つなぎ」、それらを「続けて」いく仕組みをつくるだけで、地域に「新しい価値」が生まれます。

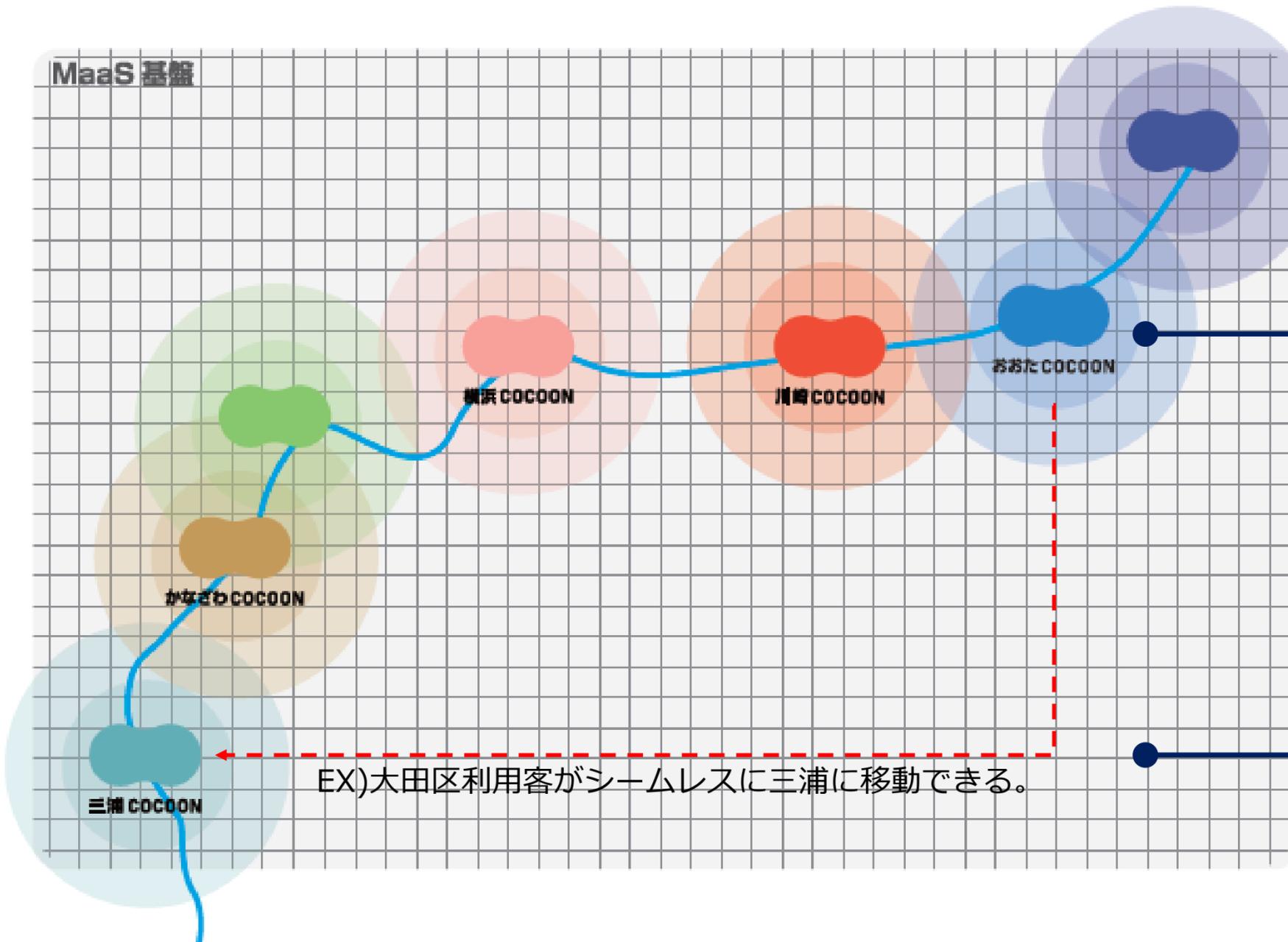
最終的にはMaaSにより、地域の移動や滞在サービスが一元化することで、沿線全体が一つのサービスとなり、新しい時代のライフスタイルを実現します。

(EaaS = ENSEN as a service)



2つのレイヤーから進めるエリアマネジメント（①ローカライズ、②共通基盤整備）

「多極型まちづくり」時代における京急沿線エリアマネジメントは、
「①ローカライズ」と「②共通基盤整備」
の2つのレイヤーに分けて整備することで、リアルとデジタルが融合した新しいまちづくりを実現させる。



「ローカライズ」レイヤー

エリアごとの活動/リアル施策

- 地域課題の解決に向けたエリアマネジメントをローカルに推進する。
- エリアごとの特性に合わせて、その地域のプレイヤーと共同で進める。
- 中核拠点を中心とした生活圏の充実を目指す。

↓

リアルとデジタルの融合

↑

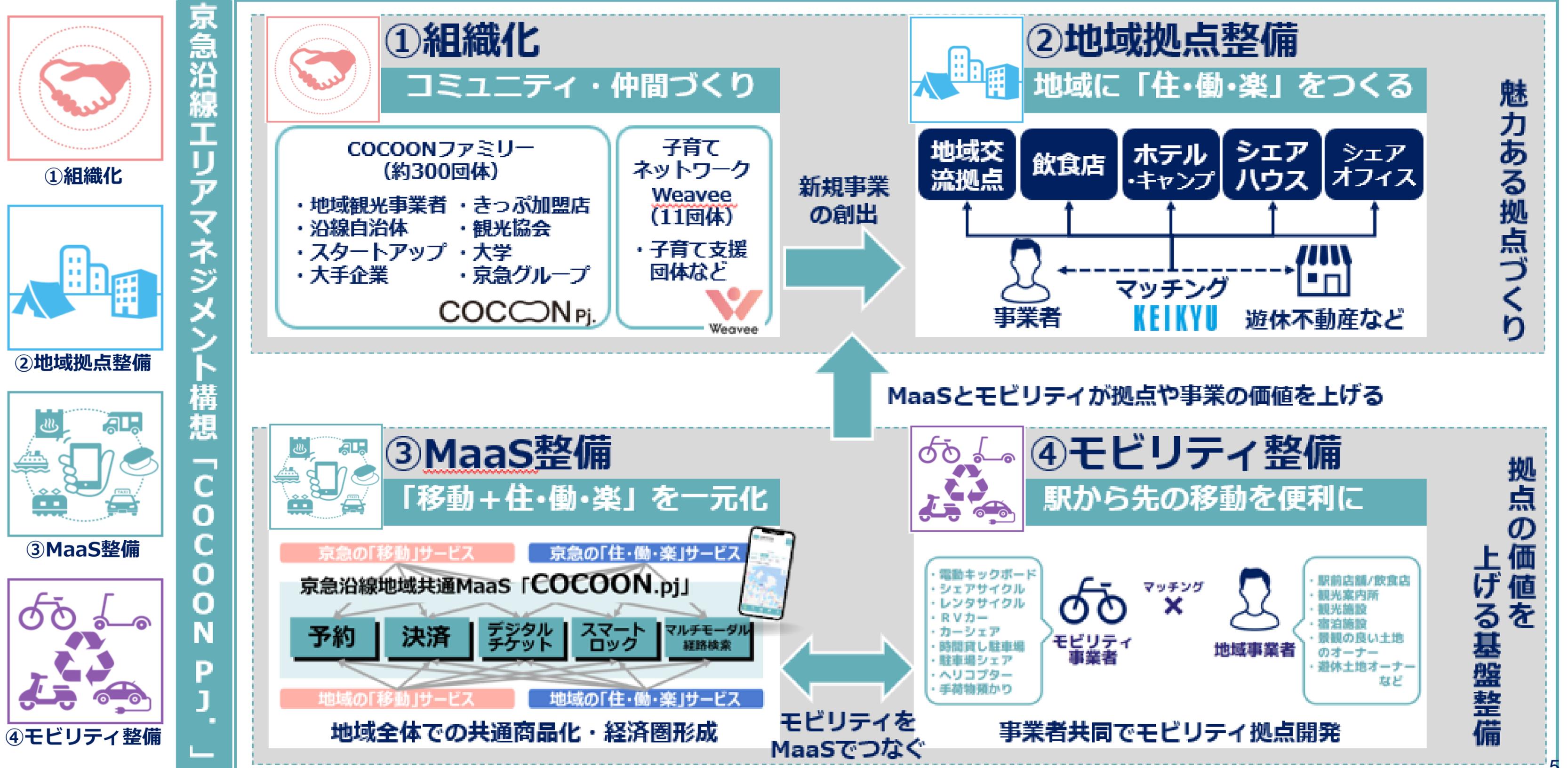
「共通基盤整備」レイヤー

沿線共通化の活動/デジタル施策

- MaaS, モビリティ基盤の共通化を進めることで、生活圏内や中核拠点間の移動需要を創出する。
- 地域共通の予約決済基盤を通じ、自社だけでなく地域他者の拠点やモビリティも一元化する。

2. COCOONプロジェクト 4つの共創活動

4つの取り組みをクロスさせながら、エリアマネジメントに取り組む



2. COCOONプロジェクト 4つの共創活動 ①エリアマネジメント組織化

- **地域事業者の活動活性化を中心**とし、自治体、当社、企業などがサポートすることで地域産業創出を目指す。
- 当社は「コミュニティハブ」として、地域新規事業や拠点整備を推進

【事例①】ミートアップイベント「COCOONファミリーMeetup!」開催

■初の交流イベントとしてファミリー約100名が参加ワークショップを通じて参加者間の事業共創を創出（2021年12月実施）



■2022年10月21日 第2回実施
テーマ「低炭素型モビリティを活用した三浦半島の楽しみ方とは」



【事例②】京急沿線子育てネットワークWeavee(ウィービー)開設

■京急沿線の各エリアで活動する子育てサークルやコミュニティ11団体が連携するネットワークを構築



■コンテンツ制作の地産地消
京急MaaSサイトやSNSの記事/WEBデザインなどの制作を委託することで地域ビジネスを創出、ママクリエイター講座による育成も行う。



■ポッドキャスト番組の配信

京急沿線で子育て環境の充実を目指すポッドキャスト番組を制作、配信することで、地域住民の取り組む活動を紹介し、地域の魅力発信に取り組む。

COCOONファミリー【171団体】

①地域事業者	84団体
トライアングル, ソレイユの丘, 三浦観光バス, うらり, 三崎恵水産, みうらレンタサイクル, 波止場商店, ミウラトラスト, シネマアミーゴ, マチノベ, 横須賀美術館, 津久井浜観光農園 など	
②自治体, 観光協会	12団体
神奈川県, 三浦市, 横須賀市, 葉山町, 逗子市, 鎌倉市, 県・各市観光協会 など	
③教育機関	4団体
関東学院大学, 神奈川大学, 三浦学苑高校, 日本さかな学園	
④サポート企業	55団体
横浜銀行, 湘南信金, かながわ信金, SMBC, 日立製作所, NTT東日本, NTTドコモ, ジョルダン, 東京湾フェリー, JR東日本, 岡田屋, ニフコ, 神奈川トヨタ, タイムズ, 損保ジャパン など	
⑤スタートアップ	6団体
ヤマップ, AirX, NearMe, schemeverge, Carstay, ecbo	
⑥京急グループ	10団体
当社, 三崎観光, 葉山マリナー, 観音崎京急ホテル, 京急百貨店, 京急ストア, 京急タクシー, 京急アド, 京急サービス, 京浜急行バス, Rバンク	

COCOON
ファミリーの拡大

計 293団体

COCOON Pj.

三浦半島おトクなきっぷ加盟店【122施設】

①みさきまぐろきっぷ	45施設
飲食 28施設, アクティビティ/みやげ 17施設	
②よこすか満喫きっぷ	24施設
飲食 15施設, アクティビティ/みやげ 9施設	
③葉山女子旅きっぷ	53施設
飲食 26施設, アクティビティ/みやげ 27施設	

2. COCOONプロジェクト 4つの共創活動 ②地域拠点整備

地域交流拠点の整備



COCOONひろば平和島(平和島駅前)



八丁畷の駅前で、地域のミライを考える。
「歴史をつなげる、
みんながつながる居場所」



ParkLine870(八丁畷駅前)



よりみちガーデン(金沢区役所前)

【目的】

- ①新たなにぎわいの創出
- ②まちづくりの担い手の発掘，育成
- ③本格的な開発に先立つ小さな実証

【実証から得られたまちづくり効果】

■シェアサイクルの需要確認

- ・ひろば内にシェアサイクルポートを設置
- ・大田区内でも有数の利用数があり，今後の駅前整備においても整備の有用性が確認できた。



■にぎわいの自然発生

- ・地域団体や，学生などから主催イベントに活用したいとの申し出が生まれた。
- ・これまで駅前に見られなかったマルシェやイベントなど，若者による賑わいが発生



■まちづくりの担い手発掘

- ・コミュニティマネージャーなどを一般から募集
- ・地域に関わるメンバーと共同で運営を行い，コミュニティ拠点構築を目指す。



地域事業支援を通じた滞在拠点整備



三崎宿 江戸の蔵宿

【事例③】古民家を活用した分散型ホテル

- 三浦市，REVIC，横浜銀行，ミウラトラストと連携協定を締結し，地域事業者によるホテル開業をサポート



【三浦海岸】Bay side share

【事例④】地域シェアオフィス連携基盤

- COCOONファミリーが運営するシェアオフィスをまとめ，一括で紹介するWEB基盤を構築する。



城ヶ島シーサイドRVステーション

【事例⑤】RVパーク(車中泊施設)開業

- 京急アクセラレータープログラム採択企業であるcarstay(株)と車中泊施設を共同運営



THE STAND BAR. | MISAKIGUGHI

【事例⑥】三崎口駅前滞在拠点の整備

- 三崎口駅前の空きスペースを活用し，地域事業者によるキッチンカー滞在拠点を整備，駅の拠点性を拡充し，滞在時間の拡大を図った。

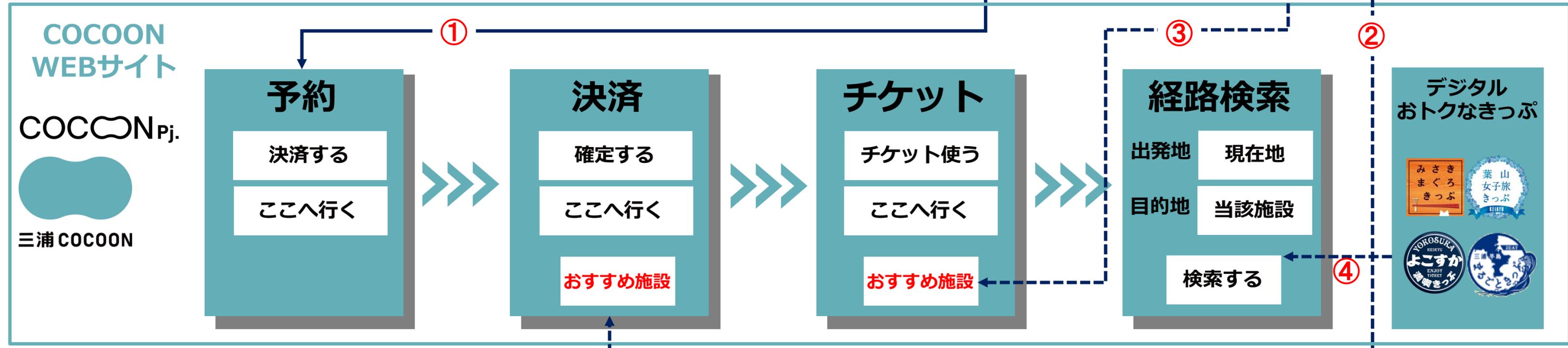
2. COCOONプロジェクト 4つの共創活動 ③MaaS整備

■地域共通の予約決済基盤として提供することを通じ、**地域で顧客DBを共有し相互誘客を図る**ことで、三浦半島の観光消費額を拡大する。

地域事業者WEBサイト（既存顧客） ※客数はコロナ禍以前の年間入場客数

軍港巡り WEBサイト (22万人) 予約する	ソレイユの丘 WEBサイト (80万人) 予約する	シェアサイクル WEBサイト (1万人) 予約する	SPASSO WEBサイト (8万人) 予約する
----------------------------------	------------------------------------	------------------------------------	-----------------------------------

- 【相互誘客による観光消費額拡大イメージ】
- ① 軍港巡りを予約したい利用客が三浦COCOONサイトに遷移
 - ② 三浦COCOON内で予約決済 → クルーズ後、観音崎スパをオススメ
 - ③ 施設までの移動手段としてシェアサイクルをオススメ
 - ④ 同じルートであれば「よこすか満喫きっぷ」をオススメ



【事例⑦】おトクなきっぷデジタル化



- 観光型MaaS「三浦COCOON」を活用し、おトクなきっぷ4種をデジタル化(2022年4~7月)
- 4月にデジタル化した「葉山女子旅きっぷ」, 「よこすか満喫きっぷ」は既にデジタル化率60%以上を達成, ダイナミックプライスやデータ活用など様々な施策が可能になった。



【事例⑧】MaaSを活用した地域脱炭素の推進



- 「温室効果ガス排出量削減効果の可視化機能」を実装, 観光客の行動変容を誘発し, マイカーから公共交通利用へのシフトを目指す。
- COCOONファミリーと連携した施策に取り組み, 地域全体での温室効果ガス排出削減を目指す。
- 三浦半島が神奈川県初の「脱炭素モデル地区」に指定(2022.8月)

このルートをマイカーで行くと...

移動距離	46.1km
所要時間	1時間31分
温室効果ガス排出量	9.2kg



郊外の課題

- 駅からの2次交通が少なくマイカー中心
- 慢性的な交通渋滞、夏季繁忙期はさらに集中
- 魅力的な場所があっても、アクセスが悪い



2. COCOONプロジェクト 4つの共創活動 ④モビリティ整備

COCOON Pj. COCOON Mobility Package

COCOON モビリティパッケージ



akippa(株)
【駐車場シェアリング】



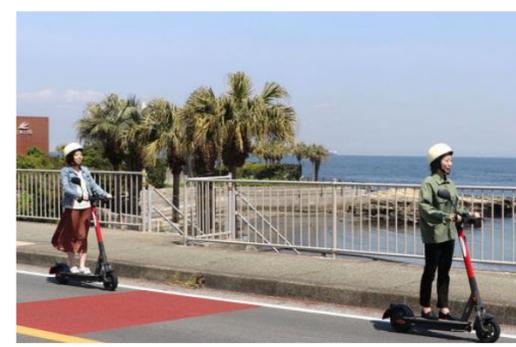
(株)AirX
【ヘリポート】



ecbo(株)
【荷物預り】



Carstay(株)
【キャンピングカーシェア】



(株)サンオータス
【電動キックボードシェア】



シナネンモビリティPLUS(株)
【シェアサイクル/ダイチャリ】



タイムズモビリティ(株)
【カーシェア】



タイムズ24(株)
【時間貸し駐車場】



みうらレンタサイクル運営協議会
【レンタサイクル】

MaaS検索
へ反映



- COCOONファミリーが展開するモビリティ事業の拠点を共同で開発
- 新設した拠点をMaaS検索へ反映
- 草の根的なモビリティ開発を通じ、三浦半島をモビリティ先進地域へ



【事例⑨】みうらレンタサイクル

- 三浦市, 三浦市観光協会, 三浦海業公社, 三浦観光バスなどと運営協議会を設立し, 地域で運営(2017年4月開始)
- 2021年度利用台数 13,616台



【事例⑩】BEVカーシェア「my-mo」

- 当社がトヨタから中古車両を購入し, 地域事業者へ運営委託 (2022年4月開始)
- 横須賀地区でも地域連携で展開予定, 東海岸周遊の移動手段として活用する。



マルチモーダルな 検索機能を提供

COCOONモビリティパッケージで整備した
拠点を含め、様々な2次交通をマルチモーダル
に検索可能



神奈川県とも連携し 三浦半島地域の脱炭素化 を推進

あんしんを羽ばたく力に——京急グループ

KEIKYU GROUP
NEWS RELEASE

KEIKYU
京急電鉄

2023年10月17日

神奈川県、株式会社サンオータスと「三浦半島地域における脱炭素化及び地域課題の解決に向けた連携協定」を締結

地域脱炭素の推進、渋滞解消、地域経済の活性化及び災害対策の強化など地域課題の解決に取り組みます。

京浜急行電鉄株式会社（本社：神奈川県横浜市，社長：川俣 幸宏，以下 京急電鉄）は、神奈川県（知事：黒岩 祐治）と株式会社サンオータス（本社：横浜市港北区，社長：北野 俊，以下 サンオータス）と2023年10月24日（火）、「三浦半島地域における脱炭素化及び地域課題の解決に向けた連携協定」を締結いたします。

これは、神奈川県が三浦半島地域圏に設定している県版脱炭素モデル地域※1が目指す、地域の脱炭素化と関係人口増加、交通渋滞解消及び防災機能強化等といった地域課題解決を同時に図る取り組みを強化するため、電動モビリティ※2を活用したMaaS※3の普及による脱炭素化の推進や、電動モビリティ及び充電ガレージ※4を災害時に活用する取り組みを連携・協働していくことを目指すものです。

1. 目的

三浦半島地域において、電動モビリティの積極的な導入やMaaSの利用促進により、地域脱炭素の推進を図るとともに、渋滞解消、関係人口の増加、地域経済の活性化及び災害対策の強化など、地域課題の解決も同時に図る取り組みを相互に連携して実施します。

2. 連携事項

地域脱炭素の推進に向けた電動モビリティの普及促進及び災害時における活用に関すること

主体	主な役割
神奈川県	<ul style="list-style-type: none"> 電動モビリティやMaaSの普及啓発・利用促進に向けた取り組み 避難所等で、電動モビリティや充電ガレージを活用 上記事項に関する市町との連携・調整
京急電鉄	<ul style="list-style-type: none"> 観光型MaaSの普及に関する取り組み 地域における更なるMaaSの利活用の検討
サンオータス	<ul style="list-style-type: none"> 電動モビリティ及びコンテナ式充電ガレージを貸与 安全な利用に関する講習開催などの普及啓発



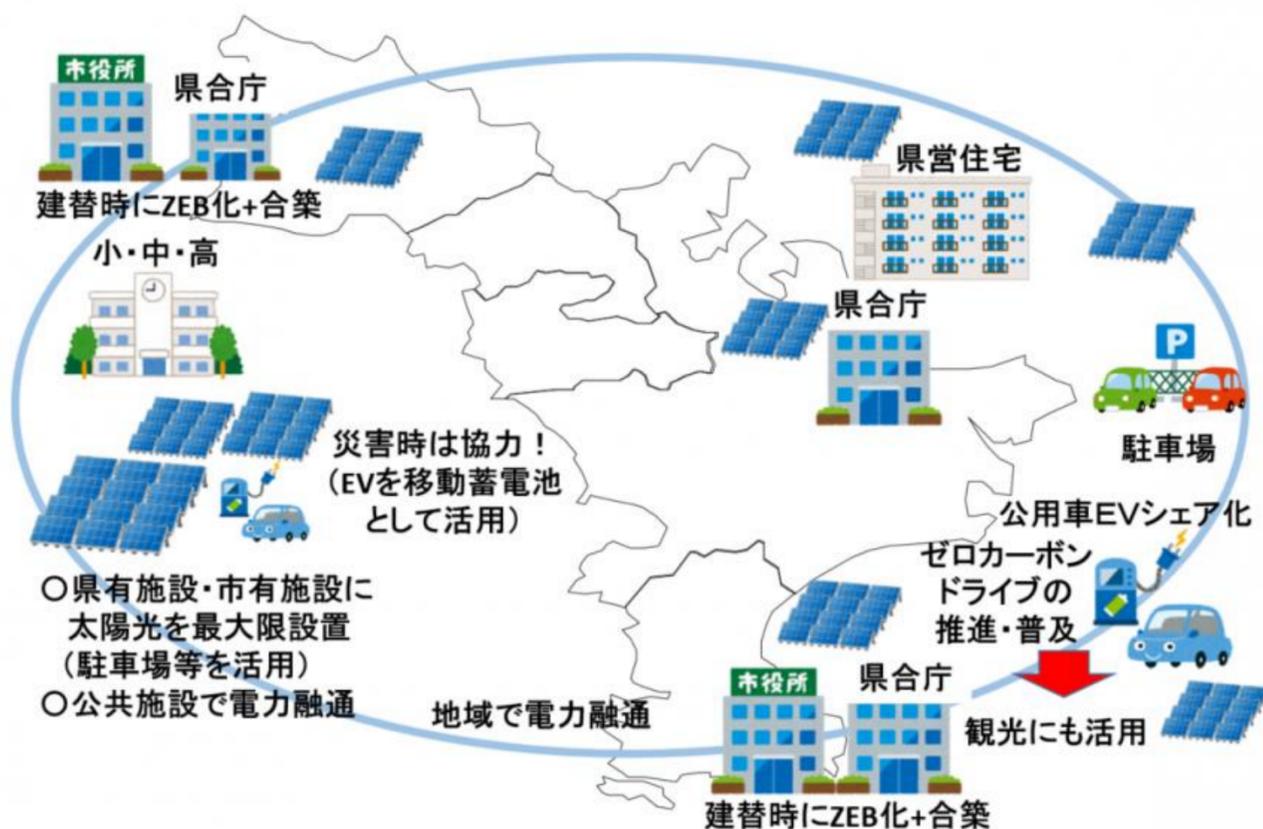
小型EV



電動キックボード



充電ガレージ



【神奈川県庁WEBサイトから】